

## 八王子市医師会防災訓練へ参加いたしました

平成29年10月1日、八王子市医師会館において、第11回八王子市医師会防災訓練が行われました。参加者は、八王子市医師会の医師や市内医療機関に勤務する医師・看護師・事務職など総勢120名ほどで、南多摩病院からも益子邦洋院長をはじめ7名の職員が参加しました。

八王子市医師会は、毎年八王子市が行う総合防災訓練に合わせて、多数傷病者が発生した場合のトリアージ・救護所での初期医療・搬送などを中心に実働訓練を重ねてきました。今回の訓練は、災害が発生し多くの傷病者が出た場合、医療従事者として行う病院前活動を想定しており、知見の習得を目的とした講習会になりました。



まず、「災害時の基本を知る、また災害時の倫理」「NBC・テロ災害への対応」と題し、早急な治療の必要性と有効な資源を超えた状況下でのトリアージについての講義を受けました。医療救護所における救急初期治療、搬送決定の基礎的概念の重要性などを中心としたものでした。その後、各班に分かれ医療救護活動シミュレーショントレーニングとして、次のような訓練を実施いたしました。

## 1. トリアージ

治療を受ける必要のある人々が多数いた場合、重症度によって診療や看護を受ける順番を決定する訓練



## 2. 応急手当

災害発生時、応急手当として必要となる気道確保や輸液ライン確保要領の訓練。医療シミュレーターを用いた手技訓練を行いました



- 用指的気管挿管
  - 喉頭鏡
  - エアウェイスコープ
- これらを用いた気道確保



## 気道確保に使用する医療器具の代用方法

### 喉頭鏡の代用



### 自作の輪状甲状膜穿刺用器具



## 骨髄輸液法（IOI : intraosseous infusion）

1922年に発表され、1940年代には欧米で普及していたものです。その後、他の血管確保法が発達したことで用いられなくなりましたが、近年、IOIは救急領域において、緊急に確保できる輸液法として再評価されつつあるものです。脛骨端などに穿刺します。

### 骨髄穿刺針



### 3. 救出前治療

事故や災害によって、倒壊した建築物などに閉じ込められている生存者に対するクラッシュ症候群（注）を想定した訓練

（注）

クラッシュ症候群とは、地震などの災害時に、建物の倒壊などで四肢の筋肉に長時間圧迫が加えられ、その圧迫から開放された後に起こる全身障害のことです。

悪条件下の現場で救急治療を行う医療チームには、特別な訓練や器具類が必要になります。右の写真を見ると足にダンボールが覆われていますが、障害物に挟まれて身動きがとれない傷病者を想定しています。





左の写真では、下肢圧迫解除によるクラッシュ症候群の危険性を考えて、モニターと輸液、AEDの準備をしています。

また、ダンボールで覆い狭い空間に閉じ込められてしまった傷病者を想定して、訓練が行われました。

このような災害現場では、まず現場の安全を確認したのち、限られた医療資材・医療行為の投入と搬送の優先度判断を行います。

#### 4. 救護所内診療・診療内容訓練



#### 5. 無線訓練

無線訓練では、本部と災害現場に分かれて実施されました。

災害現場役は、交通事故・列車脱線・ビルの倒壊などの写真を見ながら状況と支援を伝える役割です。

本部役は、必要な情報を現場から聞き出す能力が必要となります。



このように、実践的な訓練を行い全員での振り返りの後、講師である救急医学を専門とする医師よりそれぞれ評価を受けました。

この日参加した職員は、受講後に授与された「災害実践教育研修コース修了証」を手にし、災害に対し日頃からの備えがとても重要であるという想いを更に強くしました。

南多摩病院では、事故や災害から「一人でも多くの命を守る」ため、今後も職員が各種訓練に積極的に参加し、迅速に活動出来るよう防災意識の一層の高揚を図っていきます。

17100182

**第2回八王子災害実践教育研修コース修了証**

**田畑 稔 殿**  
南多摩病院



貴殿は第2回八王子災害実践教育研修コースを修了したことを証明します。

<p>第2回八王子災害実践教育研修コース内容</p> <p>座学 実習 災害概論 トリアージ(START) 医療支援の基本 発災現場 看護師の役割 救護所内診療 救命士の役割 搬送 特殊災害 無線実践訓練 CSM</p>	<p>開催場所 八王子市医師会館 開催日時 2017年10月1日(日曜日) 主催者 八王子市医師会、NPO法人;救急災害研修機構</p> <p>Course coordinator 雅楽川 聡 櫻井 淳 寺坂勇亮 玉井文洋 山口順子 野田彰浩 安心院康彦 高村政志 横山隆捷 Course director 佐々木勝(内閣官房参与) 丹正勝久(日本大学医学部救急医学客員教授) 山口芳裕(杏林大学医学部救急医学教授) 木下浩作(日本大学医学部救急医学教授) 西山 隆(神戸大学医学部災害・救急医学教授)</p>
--	---



17100181

**第2回八王子災害実践教育研修コース修了証**

**森 宏 殿**  
南多摩病院



貴殿は第2回八王子災害実践教育研修コースを修了したことを証明します。

<p>第2回八王子災害実践教育研修コース内容</p> <p>座学 実習 災害概論 トリアージ(START) 医療支援の基本 発災現場 看護師の役割 救護所内診療 救命士の役割 搬送 特殊災害 無線実践訓練 CSM</p>	<p>開催場所 八王子市医師会館 開催日時 2017年10月1日(日曜日) 主催者 八王子市医師会、NPO法人;救急災害研修機構</p> <p>Course coordinator 雅楽川 聡 櫻井 淳 寺坂勇亮 玉井文洋 山口順子 野田彰浩 安心院康彦 高村政志 横山隆捷 Course director 佐々木勝(内閣官房参与) 丹正勝久(日本大学医学部救急医学客員教授) 山口芳裕(杏林大学医学部救急医学教授) 木下浩作(日本大学医学部救急医学教授) 西山 隆(神戸大学医学部災害・救急医学教授)</p>
--	---

